

創団30周年
記念演奏会シリーズ

関西シティフィルハーモニー交響楽団
第37回定期演奏会

KANSAI CITY PHILHARMONIC ORCHESTRA
THE 37TH SUBSCRIPTION CONCERT

2004年3月27日[土] 19:00

ザ・シンフォニーホール

主催 関西シティフィルハーモニー交響楽団
協賛 株式会社 ASK PLANNING CENTER





関西シティフィルハーモニー交響楽団

KANSAI CITY PHILHARMONIC ORCHESTRA
(社)日本アマチュアオーケストラ連盟加盟団体 / 大阪文化団体連合会会員団体

1974年に、各大学オーケストラの卒業生を主たるメンバーとして、
関西OB交響楽団の名称で結成。

1994年創団20周年を機に現在の団名に改称。

“アマチュア精神に基づく、グレードの高い社会人オーケストラを
モットーに、年間2回の定期演奏会をはじめファミリーコンサート等を、
意欲的に開催しています。

近年は指導体制の充実に力点を置き、有能なプロの先生方を指
揮者や指導スタッフに招請して研鑽を積んで参りました。

中でも、1998年より4年間、ズラン・スルジッチ氏(現ザグレブ放送
交響楽団芸術監督)を常任指揮者に招聘し、その指導を仰いだこ
とにより、音楽的に大きな飛躍を遂げたとの評価を内外から得て
おります。

また組織としても若い力を積極的に運営面に活かし、“常に成
長するオーケストラ”を目指して努力を重ねております。

毎週土曜日の夜、指揮者やトレーナーの先生方の指導のもと、真
剣な練習を行っており、現在団員数は、約100名を有します。

ごあいさつ



松田 斉

関西シティフィルハーモニー交響楽団
団長

シューベルト

交響曲第7番(旧8番)「未完成」

Allegro moderato

Andante con moto

*

ブルックナー

交響曲第9番

Feierlich : Misterioso

Scherzo : Bewegt, lebhaft Trio : Schnell Da capo Scherzo

Adagio : Langsam, feierlich

本日は、私共の第37回定期演奏会にごそお越し下さいました。
今日のコンサートは、交響曲2曲で構成する所謂「ダブルシンフォニー」のコンサートで、その2曲のいずれもが、作曲者によって完成されることのなかった「未完成」の交響曲という取り合わせです。

「未完成」と言えば、初めに演奏するシューベルトが有名ですが、この珠玉のような美しい旋律と、ブルックナーの重厚な響きを対比させることで、二つの「未完成」をより一層鮮明な印象でお聞き頂ければ幸いです。

本日指揮をして下さる伊藤翔さんは、小澤征爾をはじめ幾多の世界的指揮者を輩出している桐朋学園大学の指揮科に在学中で、その将来を囑望されている、弱冠21歳の好青年です。

しかしながら、一旦タテを持って指揮台に立たれると、小柄な体から凛とした気風があふれ、柵欄は双葉より芳し、の観入のものがあり、今日は当団の歴史に残る記念すべきコンサートになりそうな予感がしております。

因に21歳と言うことは、今日の舞台に乗っている人達の中では最年少であり、当団の歴代指揮者の年少記録を大きく塗り替えることになりました。(これまでの年少記録は、前々常任指揮者・清水史広氏の26歳でした)

伊藤翔さんは、普段は東京で勉学にいそしんでおられ、これまで一度も大阪に来たことがなかったそうですが、今回は私共の練習のために、新幹線と夜行バスを利用して何度も日帰り来阪をして頂き、また神戸市郊外で行った合宿にも日間みっちりとお付き合い下さいました。

今日は、前途洋々の「未完の大器」による「未完成」が、お聴き下さる皆様の琴線に触れることが出来るよう、私共は心を込めて演奏をしたいと念願しております。

未筆ながら、今後とも当団に対し、暖かいご理解を賜われますようお願い申し上げます。

シューベルト 交響曲第7番(旧8番)「未完成」



なぜこの曲は未完成なのでしょう。本日のちほど演奏するブルックナーの9番のように作曲家の死が原因である他の未完成交響曲に対し、様々な説があります。中でも有力なのが、「4楽章の予定が2楽章でインスピレーションが途切れてしまい、これで一応完成とした。」というものです。しかし、彼自身続きを気にしていたという資料もあり、前述の説は私たちの願望の介入を認めません。やはり「謎」ば「謎」と結論付けるのが良いのではないのでしょうか。

1823年、音楽協会名誉会員に推薦され喜んだシューベルトは礼状に「交響曲を送る」と記しますが2楽章で行き詰まってしまう。しかし送付を先延ばしにもできず、とりあえず2楽章分を送りました。3楽章のスケッチが少しあるものの、そのまま協会で埋もれ、死後27年を経て指揮者ヘルベックが発見、初演し、日の目を見ます。これがこんなに愛されるなんて天国でさぞかし仰天されていることでしょう。人気の理由は曲の美しさが一番ですが、表題も効果的ではないのでしょうか。「未完成」このことばには無限の可能性が秘められ、すてきな響きがあると思いませんか。

第1楽章 アレグロモデラート、ロ短調、4分の3拍子、ソナタ形式

地底からかすかに響いてくるような憂うつな旋律がチェロとコントラバスの深い響きではじめられる。続いて低絃のピッチカートに支えられヴァイオリンが細やかに揺れ動く上に、「天国からの音楽」といわれる美しい第1主題がオーボエとクラリネットで奏される。さらに第2主題がシンコペーション音型を伴奏にチェロによって優美にうたわれる。

第2楽章 アンダンテコンモト、ホ長調、8分の3拍子、ソナタ形式

コントラバスのピッチカートにのったホルンとファゴットのやわらかい響きではじまる。それに導かれるようにヴァイオリンの主奏で弦楽器がやるせない悲しみのうたをうたう。そしてクラリネットの哀愁ただよう独奏がシンコペーション音型を伴奏にあらわれる。さいごはティンパニーのトレモロに守られながら静かに曲を閉じる。

稲葉 杏子(コントラバス)

ブルックナー 交響曲第9番



開演前のひととき、このページをご覧になつてのお客様、まだ時間があるようですからイレを済ませておいてください。ね。昨夜はぐっすり眠られましたか?」としてそんなこと言うの? とお思いでしょうね、実はブルックナーは長い、眠いというのがツツのクラシック音楽初級愛好家のあいだでは通説になっているのです。それでは今から聴く第九番というのはどういう曲なんでしょうか…はっきり言って一度や二度聴いたぐらいでは判りません、それはブルックナーが『愛する神』に捧げるために作曲して我々凡人にはその宇宙的神秘さ、荘厳さについていけないところがあるからかも知れません。で、途中で居眠りをされる方が少なからずおられます、でもそれはブルックナーサウンドを心地よいと感じる証拠でありブルックナーファンになれる素質があるということですよ。

第1楽章はソナタ形式…ソナタでもいいのです。始まりはほとんど聞こえないほどかすかな弦楽器のトレモロです(人はこれをブルックナー開始と呼んでいます、彼の交響曲の大半がこうして始まります)それが圧倒的大音量になるまでのプロセスをお楽しみください。

第2楽章は軽快な繰り返しの妙。

第3楽章はキリスト教徒じゃない人でも神の存在を感じるような天国的な気持ちにさせるスゴイ曲です。第3楽章を作曲中にいくつかのスケッチを残して彼は逝ってしまいましたが第3楽章で完成と宣言してもなんらおかしくないでしょう。

ところでステージ前列右半分は私もヴァイオリン族の棲家です。この住人は人生経験の長い人が多くお孫さんのいる人が五人も!したがって疲れやすいのですがブルックナーはどこどこに音の切れ目とか一瞬のお休みを用意してくれています。(いわゆるブルックナー休止ってやつ)そこでほっと一息ついてまた演奏に参加する…ありがとうブルちゃん?!今回のヴァイオリン族の仕事のかなりの部分はトレモロです、出だしから終わりまでただひたすら弓の反復運動で他の楽器を支えているのです、痛風の症状で手先が震えているわけではありませんので、念のため。当団の前常任指揮者スルジッチ先生がいみじくもこう言われました、「確かにヴァイオリンはフルートやランベットのような花形楽器ではないけれどオーケストラのソウルフード(焼肉屋じゃないよ)SOULつまり魂を担う楽器なんだよ。我々はいつもこの言葉を胸に抱いて演奏しています。きょうもあなたの琴線に触れるヴァイオリンサウンドにも聞き耳を立ててくださいませ。(どがやねん!)

井戸 義訓(ヴァイオリン)



伊藤 翔

8歳より母親の手ほどきでピアノを始める。まもなく指揮を志し、ヴァイオリンと作曲を学び、桐朋高等学校音楽科(作曲専攻)入学。在学中に指揮法を学び、2001年推薦により桐朋学園大学(指揮専攻)入学。現在第3学年に在籍中。高校在学中より学生オーケストラによる学内外での指揮活動を始め、2001年春にはクラクフ国立管弦楽団(ポーランド)の東京公演においてベートーヴェン交響曲第1番を指揮。2001年マゼール国際指揮者コンクールにおいて最年少出場者として、セミ・ファイナルに出場、2003年ローム音楽セミナー指揮部門 指導:小澤征爾氏他)を受講。ピアノでは2000年第16回日本教育連盟ピアノ・オーディション入賞をはじめ、いくつかのコンクールにおいて上位入賞を果たす。また、ピアノソロ及びコンチェルトのソリストとしていくつかの演奏会に出演するほか、多くの学内外のコンサート、コンクールにおいてピアノ伴奏を担当している。これまでに、ピアノをイエルク・デムス、アンドレ・S・サボア、斉木隆、藤井一興、ヴァイオリンを小島秀夫、篠崎功子、作曲を三瀬和朗、指揮を黒岩英臣、秋山和慶、上杉隆治、高階正光、湯浅勇治の各氏に師事。現在、武蔵野合唱団の指揮アシスタントを務めている。

SHOU ITOH
conductor

関西シティフィルハーモニー交響楽団 団員名簿

VIOLIN

西田 美音子
飯田 裕美
稲谷 亜季子
岩井 哲也
上阪 美保子
岡 雅樹
小野寺 慶太
加藤 孝司
加藤 裕紀子
川井 裕史
河盛 晶子
神田 靖子
北村 栄祥
桑野 祐子
古賀 康仁
斎藤 良子
佐川 眞佐子
佐向 恵子
隅谷 恭子
高橋 浩二
谷所 幸子
豊島 直子
中川 雅登
中谷 日出夫
中谷 道代
難波 千里
西川 友理子
西村 悠美
橋本 敏彦
花村 美佳
廣瀬 知華
藤田 恵子
森川 裕
山本 真弓
吉岡 弓子
和久 景子

VIOLA

秋山 久雄
井戸 義訓
入江 隆
太田 真紀子
川端 成彬
白井 恵子
田中 景子
戸井田 隼
坂東 佑二郎
福田 文治
松本 光世
吉川 由佳子
Robert Templeton

VIOLINCELLO

阿保 幸雄
岩田 倫和
奥野 平人
片山 直久
国芳 真紀子
坂元 正三
豊島 正誠
富樫 誠
中村 郁
橋本 美代
廣瀬 恵子
藤井 綾

DOUBLE BASS

稲葉 杏子
岡田 志穂
計盛 創
隅谷 正一
高橋 はるか
長岡 豊
萩尾 善正
福田 香絵
安近 紀子
渡辺 昭一

FLUTE

芝野 均
丹波 博子
多田 博史
渡辺 和雄

OBOE

岡田 啓
酒井 洋
高谷 利枝
波留 ひとみ

CLARINET

栗山 明子
芝野 範子
細野 巖
山中 聡子

BASSOON

市川 里美
一ノ瀬 圭子
上川 畑良子
山科 みどり

HORN

安彦 高志
織田 克洋
橘 逸平
中谷 星子
西山 順子
山科 幸生
池田 重一(客演)
平田 美輪子(団友)
廣橋 麻理子(団友)
松本 治夫(団友)

TRUMPET

残熊 祐治
廣橋 誠司
森 修二
山田 浩之
西川 倫史(団友)

TROMBONE

柏岡 亨
金 昌信
松田 斉
川原 卓司(団友)

TUBA

藤川 健

PERCUSSION

田村 千春

トレーナー

谷野里香(常任)
池田重一
市野桂子
岩井英樹
高井昌樹
中谷葉子
藤井真帆
団長 松田 斉
副団長 柏岡 亨
運営委員長 山科 幸生
チーフパトリージャー 阿保 幸雄
運営 川井 裕史
隅谷 正一
総務 富樫 誠二
森 真弓
インスペクター 廣橋 誠司
会計 岡 雅樹
岡 芳真紀子
田村 千春
団費 一ノ瀬 圭子
坂元 正三
佐向 恵子
人事 入江 隆
広報 岩田 倫和
上川 畑良子
細野 巖
ライブラリアン 井戸 義訓
エキストラ 桑野 祐子
楽器 金 昌信
友の会 加藤 裕紀子
団外活動 太田 真紀子
小野寺 慶太
会計監査 長岡 豊

...コンサートミストレス・コンサートマスター

...パトリージャー

・演奏会案内・

第32回JAOフェスティバルコンサート in大阪

全国のアマチュアオーケストラから選ばれた腕利きプレーヤーによるJAOフェスティバルオーケストラが、西本智実さんをはじめとする一流指揮者の方々と共演する、素晴らしいコンサートです!

*詳しくはこのプログラムに挟み込んである案内チラシをご覧ください。当団はこのフェスティバル運営のホストオーケストラとして、ただ今、企画や準備を進めております。

2004年8月22日[日]14:00開演
大阪国際会議場(グランキューブ大阪)

指揮 栗田博文・西本智実 指導 森悠子

演奏 JAOフェスティバルオーケストラ

曲目 シベリウス:交響曲第2番
チャイコフスキー:弦楽セレナード
ムソルグスキ[ラヴェル編曲]展覧会の絵

関西シティフィルハーモニー交響楽団 第38回定期演奏会

創団30周年
記念演奏会シリーズ

2004年9月26日[日]
ザ・シンフォニーホール

指揮 藏野雅彦

曲目 ベートーヴェン:交響曲第3番「英雄」
ツポリフ=イヴァノフ組曲「コーカサスの風景」
チャイコフスキー:イタリア奇想曲

関西シティフィルハーモニー交響楽団 ファミリーコンサート(仮称)

2004年11月28日[日]
池田市民文化会館「アゼリアホール」

指揮 デヴィッド・ハウエル

曲目 未定

関西シティフィルハーモニー交響楽団 第39回定期演奏会

*曲目は変更になる場合があります。

2005年3月21日[祝・月]ザ・シンフォニーホール

指揮 ギオルギ・バプアゼ

曲目 フランク:交響曲二短調
デュカス:交響詩「魔法使いの弟子」
ベルリオーズ:序曲「ローマの謝肉祭」

ホームページのお知らせ

当団のホームページでは、演奏会の情報や演奏曲の解説をはじめ、日常の活動の様子、コンミスのメッセージ、過去の演奏のデータ等、盛り沢山のコンテンツで皆さまのご来場をお待ちしております。一度覗いてみて下さい!!

<http://orchestra.musicinfo.co.jp/~kcpo>

当楽団のホームページ「クラシック音楽情報センター」(<http://www.musicinfo.com>)より、サーバーの無償使用の協力を得ています。

ただ今、団員募集中。

当団では現在、
打楽器・ハープの団員を募集中です!

練習日時 毎週土曜日、夜6:30~9:30

練習場所 北出音楽事務所

(JR・京阪「京橋駅」から徒歩10分)

お問い合わせは事務局まで。[0729-58-4585]
なお、当団のホームページでも最新の団員募集情報を公開しております。

当団では「友の会」の会員を募集しております。会員になられますと...

〔当団主催演奏会のご案内〕

〔特別優待価格でのご入場〕

〔友の会特別席のご用意〕

...等の特典があります。入会金、会費無料!! 本日のこのプログラムに挟み込んである緑色の用紙でお申し込み下さい。